



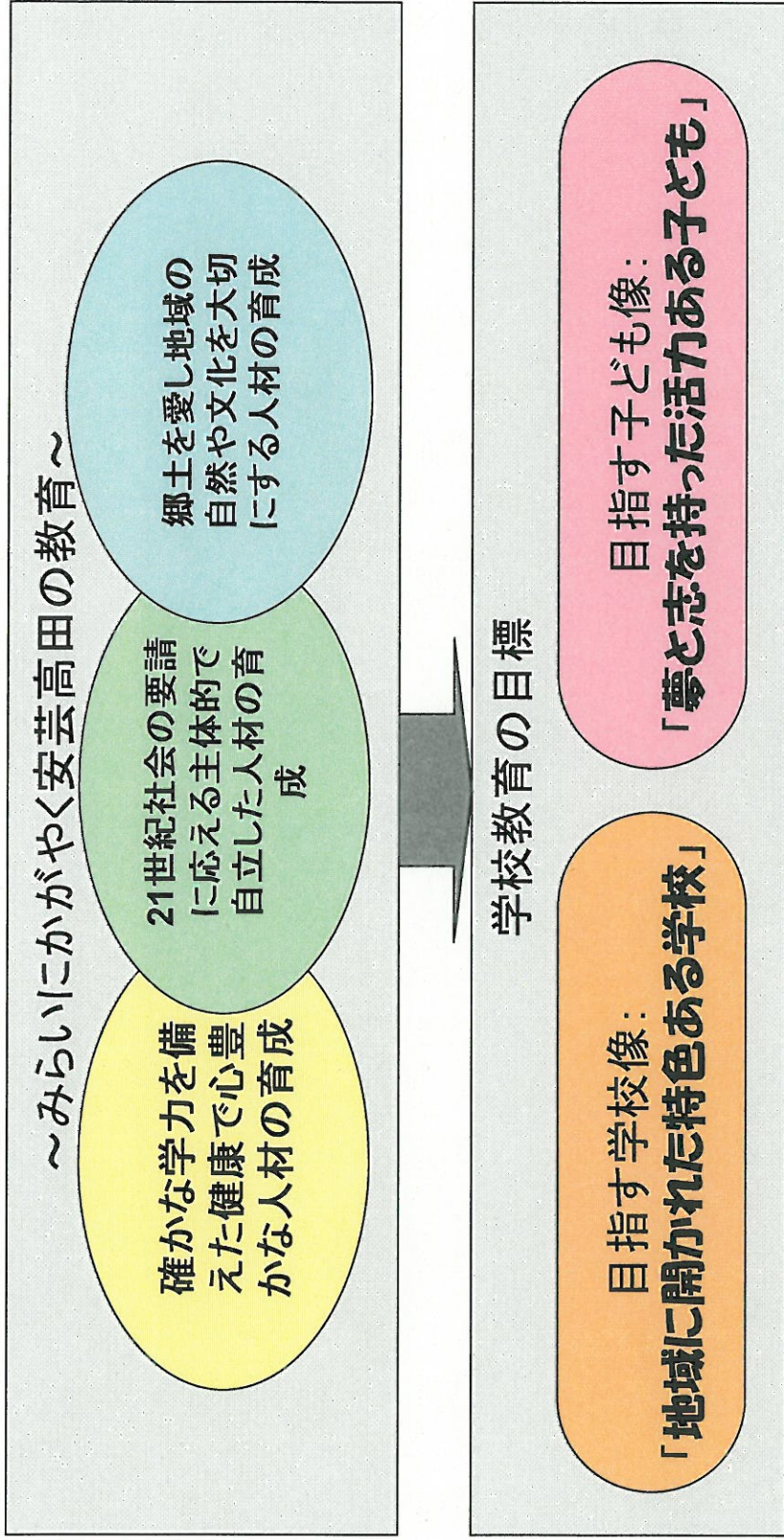
安芸高田市
学校規模適正化委員会
第1回会議資料

平成21年6月2日

安芸高田市学校規模適正化委員会

1 安芸高田市の目指す「協育」～子どもたちの豊かな育ちのために～(1)

■ 安芸高田市の教育目標



学校・家庭・地域社会の相互連携
学校間の横の連携
幼小中高の縦の学校間連携

関係者が一体となった「協育」の推進

1 安芸高田市の目指す「協育」～子どもたちの豊かな育ちのために～(2)

■「かがやき」プラン(安芸高田市の学校教育、生涯学習に関する方針を示した計画) 平成21年度の実践プロジェクト

幼児教育の充実

- ・就学前教育の充実

特色ある教育の推進

- ・学校保健推進事業
- ・学力向上推進事業
- ・特色ある学校づくり事業
- ・体力向上推進事業
- ・特別支援教育推進事業
- ・学校安全管理事業

社会の変化に対応した教育の推進

- ・国際理解教育推進事業

心の教育の充実

- ・体験活動推進事業
- ・キャリア教育推進事業
- ・適応指導教室運営事業
- ・道徳教育推進事業
- ・生徒指導対策充実事業
- ・人権教育推進事業

開かれた学校づくりの推進

- ・開かれた学校づくり推進事業

学校教育体制の充実

- ・人材育成事業

教育施設・設備等の整備

- ・情報教育の基盤整備
- ・学校耐震化の推進
- ・教育施設、設備の整備
- ・就学援助事業
- ・小学校、中学校の適正な管理
- ・幼稚園の運営管理
- ・その他(学校規模適正化の検討、教育行政外部評価の実施)

1 安芸高田市の目指す「協育」～子どもたちの豊かな育ちのために～(3)

- 安芸高田市の教育の現状
- 学力・学習面における基礎的・基本的な内容は概ね定着してきている

【参考】

別表 1 平成 20 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査より

小学校 5 年	国語	算数	中学校 2 年	国語	数学	英語
広島県	67.4	76.1	広島県	76.2	65.7	71.1
安芸高田市	69.3	78.8	安芸高田市	79.3	68.9	76.8

別表 2 平成 20 年度全国学力学習状況調査より

小学校 6 年	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	中学校 3 年	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
全国	65.4	50.5	72.2	51.6	全国	73.6	60.8	63.1	49.2
広島県	67.8	53.3	74.3	53.6	広島県	74.1	60.9	64.1	48.7
安芸高田市	66.6	53.3	75.8	51.7	安芸高田市	76.5	64.7	68.1	53.0

○ 不登校児童生徒は、平成 18 年度をピークに徐々に減少傾向にはあるが、国や県と比較すると依然として高率で推移

→ 人間関係の希薄さや家庭教育の低下な

どが要因と考えられる。

○ 中学校においては、全国的な傾向と同様、本市においても 1 年生時に新たな事案が発生する、いわゆる「中 1 ギャップ」問題の改善が重要な課題である。

別表 3

生徒指導上の諸問題に関する調査より

学校種	問題行動	H17	H18	H19	H20
		件、人	件、人	件、人	件、人
小学校	暴力行為	1	0	3	0
	いじめ	0	8	2	1
	不登校	9	12	6	3
中学校	暴力行為	2	5	6	3
	いじめ	2	8	2	3
	不登校	26	39	37	25
合計	暴力行為	3	5	9	3
	いじめ	2	16	4	4
	不登校	35	51	43	28

■安芸高田市の目指す「協育」の姿

○本市らしい「小中連携教育」

→子どもたちの成長を小・中学校9年が連続したものととらえる

○地域の人材、資源を活用した体験活動、特色ある学校活動の充実

→郷土芸能学習、地域に根ざした特色ある教育活動により、さまざまな

人間関係構築、社会性の育成

→地域の温かさに触れ、感謝の心と郷土に対する誇りや愛着など豊かな

心をはぐくむ

○学校の役割

→すべての子どもたちに社会で自立して生きていく基礎を培うこと

→子どもたちが多様な考え方に出会い、お互い切磋琢磨し学び合う中で、協調性、社会性、規律性を培いながら、人間関係能力を高め成長する環境を整えること

○家庭の役割

→教育の出发点として子どもの成長を見守る

○地域の役割

→地域の人材、自然、郷土芸能、コミュニティ活動などを通して子どもたちの成長を見守る

○学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもたちを育む仕組みの構築

2 小中学校の学校数

■ 小学校数

平成14年までは 17校

平成15年 14校

(旧美土里町における、4校の学校統廃合及び
美土里小学校の新規開校による)

平成16年 13校 → 現在に至る

(旧吉田町における、1校の学校統廃合による減少)

■ 中学校数

中学校数は、旧町ごとに
1校、計6校である。

小学校数

平成14 (2002)年	平成15 (2003)年	平成16 (2004)年	平成21 (2009)年
吉田小	吉田小	→吉田小	吉田小
丹比西小	丹比西小	(統廃合)	
可愛小	可愛小	可愛小	可愛小
郷野小	郷野小	郷野小	郷野小
刈田小	刈田小	刈田小	刈田小
根野小	根野小	根野小	根野小
横田小	→美土里小		
本郷小	(統廃合・新	美土里小	美土里小
北小	規)		
生桑小			
川根小	川根小	川根小	川根小
来原小	来原小	来原小	来原小
船佐小	船佐小	船佐小	船佐小
甲立小	甲立小	甲立小	甲立小
小田小	小田小	小田小	小田小
小田東小	小田東小	小田東小	小田東小
向原小	向原小	向原小	向原小
計17校	計14校	計13校	計13校

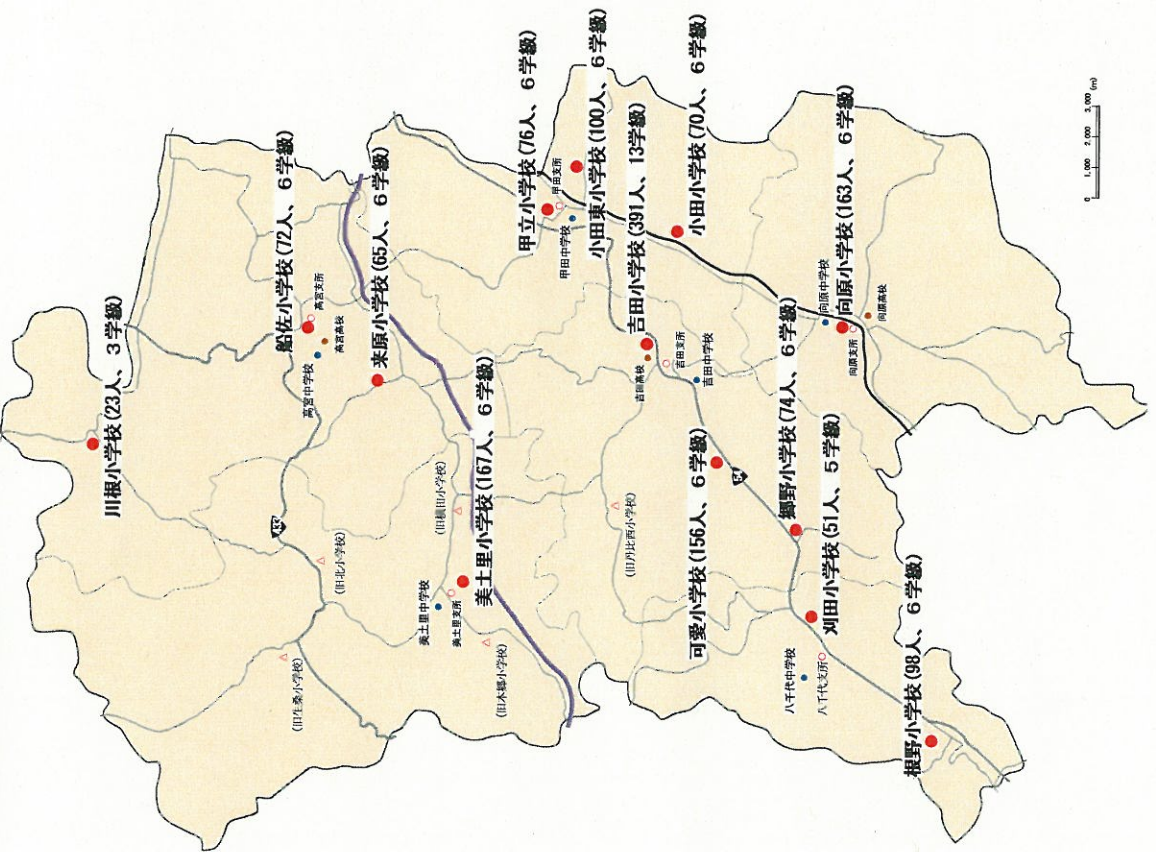
中学校数

平成14 (2002)年	平成15 (2003)年	平成16 (2004)年	平成21 (2009)年
吉田中	吉田中	吉田中	吉田中
八千代中	八千代中	八千代中	八千代中
美土里中	美土里中	美土里中	美土里中
高宮中	高宮中	高宮中	高宮中
甲田中	甲田中	甲田中	甲田中
向原中	向原中	向原中	向原中
計6校	計6校	計6校	計6校

3 小中学校の位置、児童数・生徒数

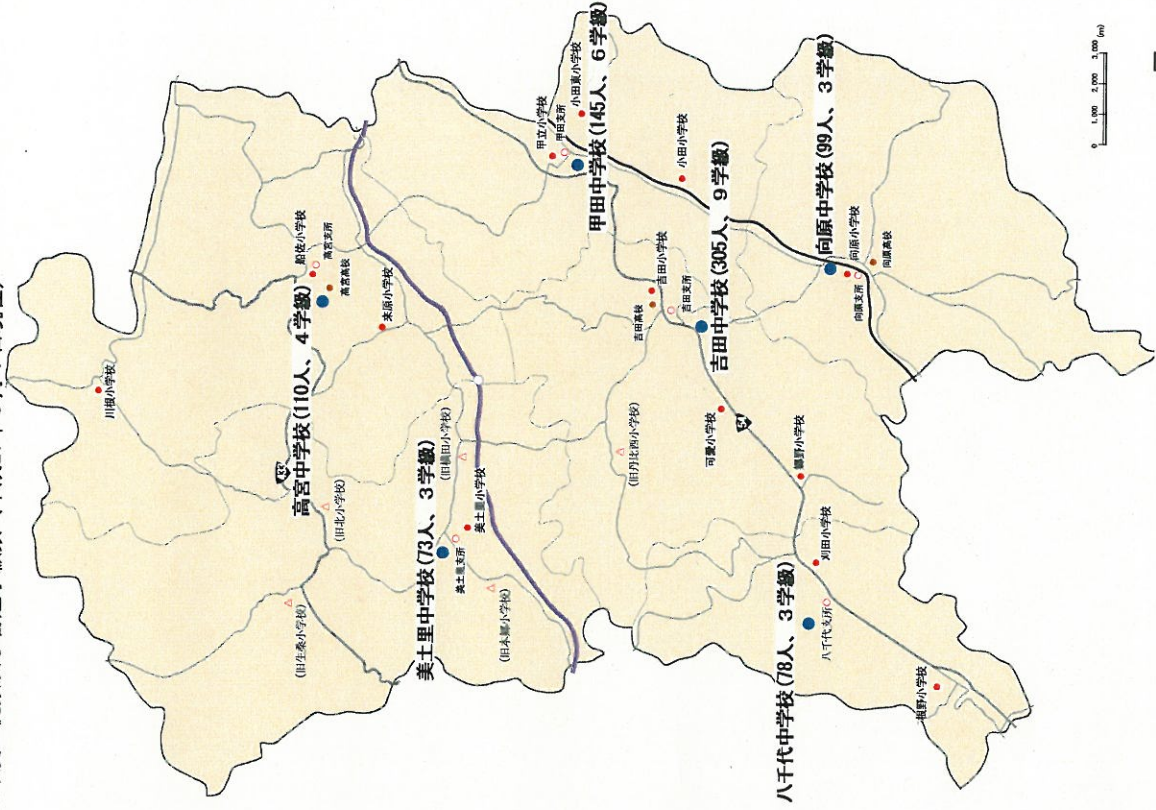
○小学校の位置、児童数、普通学級数

21年度児童数及び普通学級数（平成21年5月1日現在）



○中学校の位置、生徒数、普通学級数

21年度生徒数及び普通学級数（平成21年5月1日現在）



※児童数、生徒数、普通学級数は平成21年5月1日時点

4 小学校の概観



↑ 吉田小学校



↑ 可愛小学校



↑ 細野小学校



↑ 刈田小学校



↑ 根野小学校



↑ 美土里小学校



↑ 川根小学校



↑ 来原小学校



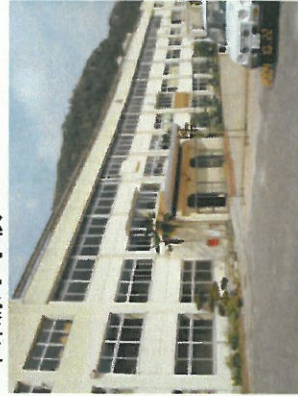
↑ 船佐小学校



↑ 甲立小学校



↑ 小田小学校



↑ 小田東小学校



← 向原小学校

5 中学校の概観



↑ 吉田中学校



↑ 八千代中学校



↑ 美土里中学校



↑ 高宮中学校



↑ 甲田中学校



↑ 向原中学校